

在日米軍再編に係る調査特別委員会 (H18. 4. 12)

## 1 最近の日米協議日程について

(1) 3月30日及び31日予定の日米防衛・外務当局間会合が延期。

・当初予定の3月末までの最終報告の取りまとめは行われず。

(2) 4月4日及び5日に、米国ワシントンD・Cにおいて、日米防衛・外務当局間  
会合開催。(当初4/4~6の予定が1日早まって閉会)

(3) 4月13日及び14日に、東京において、日米防衛・外務当局間会合が開催予定。

## 2 広報紙による住民周知について

(1) 発行日 : 広報ちとせ4月号(4月10日付)

(2) 方法 : 号外

(3) 発行部数 : 約4万部

(4) 意見箱設置の状況

・設置日 : 4月5日(水)から当分の間

・設置場所 : 19箇所

市役所(市民課窓口、市民ホール)

市の公共施設(各コミセン(11箇所)、各支所(3箇所)、図書館、

市民文化センター、千歳駅市民サービスセンター)

### 3 3月21日の国からの説明に対する内容の照会状況

(1) 平成18年3月24日(千基地 第23号) … 国側は、回答作成中

(2) 平成18年3月31日(千基地 第26号) … 国側は、回答作成中

(3) 平成18年4月11日(千基地 第6号) … 国側は、回答作成中

(4) 前回(H18.3.22)の質問事項に対する確認状況について

#### ① 回答事項(札幌防衛施設局からの口頭回答)

**【質問】** 訓練移転先である6箇所での説明資料

(千歳市と同様の資料かどうか)

**【回答】** 訓練移転に係る関係自治体については、同じ資料で説明。

#### ② 照会事項

ア) 共同訓練の場所はどこか。(空域)

イ) 「訓練活動の影響を軽減する」の意味は。

ウ) これまでの共同訓練の実施状況。(千歳飛行場及び全国)

エ) 共同訓練の場所として北海道大演習場使用の可能性はあるのか。

オ) 「支援する区域へのアクセスを含む」とは、経路上での訓練を含むのか。

カ) 米海軍機との共同訓練は米空軍との訓練内容と異なるのではないか。

訓練内容を確認すること。

キ) 沖縄の負担軽減の内容

市民の皆さんへ

## 在日米軍再編に伴う訓練移転問題について

このたび、国から説明がありました。在日米軍（日本国内に駐留する米軍）再編に伴う訓練移転問題に関して、日米間の協議内容とこれまでの経過、市の対応について、市民の皆さんにお知らせいたします。

### これまでの経過について

昨年10月31日に、国の機関である札幌防衛施設局から「嘉手納飛行場、岩国飛行場、三沢飛行場の各米軍施設で行われている航空機訓練の一部を、千歳飛行場を含む全国6か所の飛行場に分散・移転する可能性がある」との説明がありました。

市は、具体的な内容が示されない中で、騒音の加重や事故・治安面での懸念、まちづくりへの影響などから、「現時点では、受け入れがたい」との姿勢を伝えるとともに、国に対して、早急に情報提供を行うよう繰り返し要請してきました。

また、訓練移転元の嘉手納、岩国、三沢の3飛

行場の騒音などの実態を把握するため、これら米軍飛行場の現地調査を実施するとともに、今後の対応を検討するために、市長を本部長とする「千歳市在日米軍再編問題検討会議」を組織し、市議会においては、「在日米軍再編に係る調査特別委員会」を設置して各種調査を実施してきました。

このような中で、本年3月21日、札幌防衛施設局から、「千歳飛行場が訓練移転先の対象地として協議が進められている」との説明があり、訓練移転について協議中の内容（次頁）が示されました。

### 市の対応について

市は、3月21日の説明を受け、「国は協議の途中経過について、誠心誠意説明を行うとしていたものの、具体的な内容を示さずに約5か月が経過したことについて、国の対応は、誠実さを欠き大変遺憾である」と表明しました。

また、国は3月末までに最終報告を行うとしており、これでは市議会での審議や市民の皆さんに対する説明、検討のための時間がないことから、最終報告の時期を延ばすことを要請しました。

さらに、騒音の加重や事故・治安などの懸念に対する判断材料が十分でないこと、国が想定する

日程では対応が難しいことから、「現時点では、受け入れがたい」との意向を国に示したところで

す。市は今後、現時点で示された訓練移転の内容を分析し、より詳細な内容を国に求めていくとともに、今後示される内容をもとに検討を行い、騒音など市民生活への影響が予測できた時点で、市の基本方針を含めた内容について、住民説明会や市のホームページ、広報ちとせなどで市民の皆さんにお知らせしていきます。

以下の内容は、平成18年3月21日に札幌防衛施設局から示された協議経過の内容です。下線部については、右に注釈があります。今後とも、詳細な内容について、札幌防衛施設局に確認してまいります。

## 訓練移転について

米国と協議中の内容は以下の通り。

### 1 目的

自衛隊と米軍との間の相互運用性を向上させる必要性に従うとともに、訓練活動の影響を軽減するとの目標を念頭に、嘉手納飛行場を始めとして、三沢飛行場や岩国飛行場といった米軍飛行場から他の飛行場への訓練移転を実現する。

### 2 訓練の移転元

- ・当面は( 1 )、嘉手納、三沢、岩国の3飛行場とする。

### 3 訓練の移転先

- ・当面は( 1 )、千歳、三沢、百里、小松、築城と新田原の6基地とする。
- ・日米両国は、将来における日米共同訓練のための自衛隊基地の使用拡大( 2 )に向けて努力する。

### 4 移転訓練の形式

共同訓練( 3 ) ( 関連活動( 4 )を含む)とする。

### 5 実施場所

- ・当面は、上記6基地(訓練空域その他のこれらの施設(6基地))を支援する区域へのアクセスを含む)で行う。

### 6 移転訓練の規模

以下の内容は典型的な移転訓練の規模のイメージ( 5 )である。

- ・当初はタイプ1の訓練を実施し、その後タイプ1やタイプ2の訓練の双方を実施。(移転訓練(特にタイプ2)の完全な実施のためには、追加的な施設が必要になる可能性あり。)

(参考例)

タイプ	米軍航空機の規模	自衛隊航空機の参加規模	訓練期間
1	1～5機程度	米軍機の規模と同程度	1～7日間程度
2	6～12機程度	米軍機の規模と同程度	8～14日間程度

## 注 釈

3月21日、札幌防衛施設局が文書を持参した時に、千歳市が聞き取り、確認した内容です。

当面は( 1 )  
現時点で、これ以外について、具体的に想定しているものではない。

使用拡大( 2 )  
6基地以外の基地への拡大について努力するとの意味。

共同訓練( 3 )  
単独訓練は想定していない。

関連活動( 4 )  
共同訓練に必要な離着陸訓練などの慣熟飛行はあり得る。

イメージ( 5 )  
必ずこの範囲で行うというものではない。この規模を上回ることもあり得る。

## 7 基地使用の態様

### (1) 日米合同委員会合意の変更について

共同使用の態様については、日米合同委員会合意において定められているところ、

- ・年間の総使用日数及び訓練 1 回当たりの使用期間の制限については維持する。
- ・年間の訓練回数の制限を撤廃( 6 )する。

### (2) その他の態様

- ・その他の態様については、共同訓練に参加する航空自衛隊と同様の態様( 7 )とする。

## 8 年間計画( 8 )

- ・日米両国は、2007年度(平成19年度)から、毎年、移転訓練の計画を作成する。

(2006年度(平成18年度)の移転訓練については、必要に応じて、同年度に計画を作成する。)

## 9 施設整備

- ・現地調査を実施の上、必要に応じて、施設整備( 9 )の実施について計画する。

### 施設整備( 9 )

現地調査を実施した後に、その必要性について検討する。例えば、駐機場、格納庫など。

年間の訓練回数の制限を撤廃( 6 )

現在の千歳飛行場の日米共同訓練に使用できる条件のうち、訓練回数年約4回を撤廃するが、年間の総使用日数などの条件は変更しない。

小規模な訓練を含め、年4回以上実施する可能性もある。

航空自衛隊と同様の態様( 7 )

深夜早朝の飛行は、特に必要な場合を除き、原則として実施しない。

### 年間計画( 8 )

2007年度からの訓練が主たるところであるが、2006年度についても実施する可能性がある。今後、日米間で協議を進める。

### ・問い合わせ先

企画部空港・基地課基地係 TEL:0123-24-3131 (内線234) FAX:0123-22-8852

### ・再編問題に関する千歳市のホームページ

<http://www.city.chitose.hokkaido.jp/kiti/topic/saihen-top.html>

### ・この用紙以外によるご意見・ご要望

企画部広報広聴課広聴係 TEL:0123-24-3131 (内線249) FAX:0123-22-8852

### ・Eメールによるご意見・ご要望

市長へのポスト <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/koutyou/index.html>

市民の皆さんのご意見を自由にお書きください。

----- 切り取り線 -----

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

# 訓練移転の概要

## 《移転元の米軍飛行場の概要》

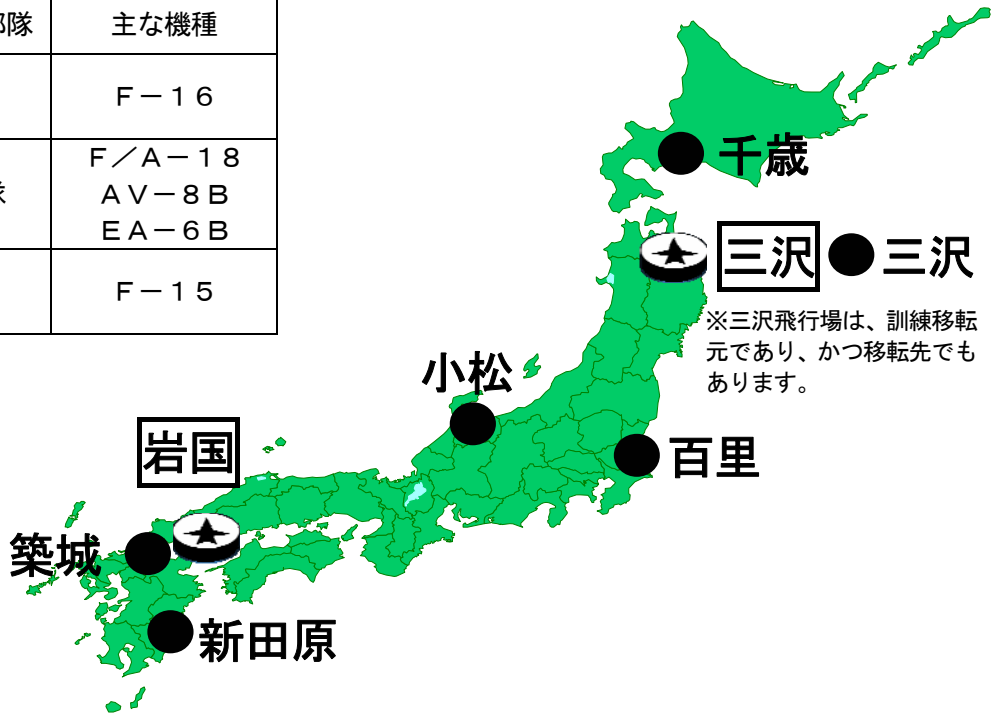
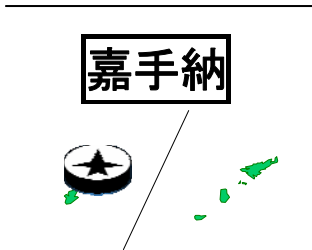
	主な所属部隊	主な機種
三沢飛行場 (青森県)	米空軍	F-16
岩国飛行場 (山口県)	米海兵隊	F/A-18 AV-8B EA-6B
嘉手納飛行場 (沖縄県)	米空軍	F-15



訓練移転元 (3か所)



訓練移転先 (6か所)



※三沢飛行場は、訓練移転元であり、かつ移転先でもあります。

## 訓練移転元の米軍飛行場の調査結果

	飛行協定にかかる調査結果
三沢飛行場	嘉手納の騒音規制措置を準用している。三沢基地所属機は、騒音に配慮した飛行を実施しており、三沢市と米軍は長年にわたる対話と交流により、良好な関係が築かれている。
岩国飛行場	岩国日米協議会での確認事項（紳士協定）は、おおむね守られている。
嘉手納飛行場	「嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置」（日米合同委員会合意）は形骸化しており、頻繁に深夜・早朝の飛行がある。

## 現行における米軍の千歳飛行場の使用条件

日米地位協定に基づき、米軍は、これまで航空自衛隊千歳飛行場を次のとおり使用できることとなっています。最近では、平成11年11月に千歳飛行場に飛来し（使用して）、訓練空域で日米共同訓練が行われています。

年間約4回  
各3～20日まで  
年間60日以内

キリトリ

※市民の皆さんのご意見・ご要望は、電話・E-mailのほか、この用紙を使用して、市役所市民課窓口、市の公共施設（コミセン、各支所、市民文化センター、図書館、千歳駅市民サービスセンター）にお寄せください。

(在日米軍再編に係る調査特別委員会（議会側）H18.4.12)

3月21日の札幌防衛施設局長からの説明に対する内容の照会について (1)

平成18年3月24日（千基地 第23号）

- 1 訓練の移転先となる地元においては、さらなる負担となるが、訓練移転を実施する目的は何ですか。
- 2 (2) 訓練移転元で「当面」とは、将来他の基地からの訓練移転もあるということか。
- 3 訓練に際して、移転元の飛行場からどのような航空機が飛来するのか。
- 4 岩国のNLP（夜間着艦訓練）は訓練移転はないと理解してよいか。
- 5 (3) 訓練移転先で「当面」とは、将来他の基地への訓練移転もあるということか。
- 6 将来「自衛隊基地の使用拡大に向けて努力する」とあるが、どこを対象にしているのか。
- 7 (4) 訓練移転の形式で、単独訓練はないと理解してよいか
- 8 「関連活動」の具体的活動は何か
- 9 (6) 訓練移転の規模で、タイプ2を超える規模の訓練はあるのか。
- 10 (7) 基地使用の態様で、年間訓練回数を撤廃する理由は何か。
- 11 深夜早朝(22:00～07:00)の訓練はないと理解してよいか。

- 12 土・日曜日及び祝祭日の訓練はないと理解してよいか。
- 13 仮に使用条件の範囲内としても、騒音の加重など市民生活に影響を与えるが、国はどのような対応を検討しているのか。
- 14 (8)年間計画で、平成18年度実施の時は、どのような訓練（規模含む）を想定しているのか。
- 15 平成19年度の計画はいつ頃作成することになるのか。
- 16 (9)施設整備で、必要に応じて整備する施設とは、どのような施設をいうのか。
- 17 訓練移転が特定の飛行場に集中しないのか。
- 18 市民に対し説明会を開く考えはあるのか。
- 19 米軍人の駐屯はあるのか。



## 3月21日の札幌防衛施設局長からの説明に対する内容の照会について (2)

平成18年3月31日(千基地 第26号)

### 1. 関連活動における慣熟訓練の目的

- ・ 基地周辺の地形等を掌握するために行う低空飛行が主たるものであり、いわゆる艦載機への離着陸などを想定した大きな騒音の発生をイメージしたものではないことを確認したい。

### 2. 施設整備

- ・ 現地調査を実施して、必要に応じて計画するとしているが、一部においては、施設整備は米軍施設の恒久化につながるとして懸念を表す声がある。現時点でかまわないが、可能性について承知していれば示していただきたい。

### 3. 協定の締結

- ・ 訓練に伴う騒音被害を抑制するうえからも騒音軽減に向けた飛行協定の締結が不可欠である。その方法はいろいろあるが、今後、地元との協定締結の可能性についてお示しいただきたい。

### 4. 移転元

- ・ 千歳飛行場に飛来する航空機についてはどの程度特定されるのか。これまで実施された共同訓練では、外国に駐留している米軍の参加もあったが、このたびの訓練移転では、外国から直接飛来して訓練を行う計画はあるのか確認したい。

## 5. 移転訓練の規模

- ① 航空機、機数、離発着回数、訓練時間帯などについての一定の想定が必要である。これが無いと、騒音の影響についての想定ができない。
- ② このイメージで示されている航空機の規模については、戦闘機のみならず他の航空機も含めての機数と理解してよいか
- ③ 千歳飛行場に飛来して行う訓練の空域については、主に、襟裳沖、留萌沖の海上が主たるものと理解してよいか。
- ④ このたびの移転により、共同訓練に伴う米軍機の離着陸回数が純増となるのか、あるいは、これに伴い航空自衛隊の離着陸回数が減となることも想定しているのか。
- ⑤ 米軍人の外出に伴い治安の悪化が懸念されるが、国側としては、どのように対応するのか。

## 6. その他

- ① 米軍機の飛来が増えることに伴う新千歳空港への影響について
  - ・ 羽田空港の4本目の滑走路供用開始予定や東アジア方面の北海道観光ブームにより、乗降客が増加している中で、国内線では本年4月からスカイマークエアラインズが新規就航し、国際線では中国系航空の増便や新規就航要求などがある。これらに対する影響はないと理解してよろしいか。
  - ・ 現在、国において計画中の国際線専用ターミナルビルの新設事業に対する影響はないと理解してよろしいか。
  - ・ 千歳飛行場に隣接する新千歳空港の離着陸回数は年間約10万回を数え、さらに今後も新千歳空港の利用は増加が見込まれますが、現行の管制能力はどのようになっているのか。
- ② 今後、北海道大演習場（島松射爆撃場含む）などでの訓練はないと理解してよろしいか。

- ③ 訓練移転先の6箇所に対して、どのような資料で説明しているのか。  
(千歳市と同一又は違う資料のどちらか)
- ④ 議会及び住民の説明会において、札幌防衛施設局から説明してもらうことが可能か。
- ⑤ このたびの訓練移転により、可能となる沖縄の負担軽減の程度を確認したい。
- ⑥ 訓練規模及び訓練内容（飛行回数、訓練時間帯等の詳細な訓練内容）については、いつごろ周知されるのか。
- ⑦ 岩国からの訓練移転は、米海兵隊、海軍の艦載基地である。これまでの空軍との共同訓練と訓練内容が異なり、騒音が激しくなったり、事故等の危険性が高くなるなどの懸念はないのか。
- ⑧ 訓練実施場所にある「支援する区域へのアクセスを含む」とは、経路上での訓練の可能性を意味するのか。

3月21日の札幌防衛施設局長からの説明に対する内容の照会について (3)

平成18年 4月11日 (千基地 第6号)

(1) 訓練日数について

今回の再編で示された期間60日は、従来からの共同訓練における訓練日数の考え方と同様に、展開・撤収を含んだ期間として理解しているが確認したい。

(2) 航空機の種類について

訓練規模の参考例にある、航空機とは戦闘機のみか、又は戦闘機以外の輸送機も含むのか。

(3) 訓練に参加する最大の機数 (1回あたり)

一訓練空域での訓練において、日米の各航空機の参加機数は、これまでの訓練状況から最大で何機になるのか確認したい。

(4) 使用する空域について

千歳飛行場における訓練で使用する空域は、何箇所か。又はその空域の場所名はどこか。

## 日米共同訓練実施実績表（過去10ヶ年）

訓練期間	訓練内容	訓練 空域	参加機種及び使用基地			
			航空自衛隊		米軍	
H9. 3. 13	防空戦闘訓練	三沢東方	F-15×8、F-1×8 E-2C×2	千歳、三沢 襟裳	F-16×8	三沢
H9. 7. 7 ～ 7. 17	防空戦闘訓練 戦闘機戦闘訓練 救難訓練	三沢沖 秋田沖 小松沖	F-15×14、 F-4×12	千歳、三沢 府中、小松 那覇、入間	F-15×4、F-16×4	横田、嘉手納 三沢、岩国
H9. 11. 3 ～ 11. 14	防空戦闘訓練 戦闘機戦闘訓練 再発進準備訓練	三沢沖 秋田沖 小松沖	F-15×12、F-4×4 F-1×8、E-2C×3	千歳、三沢 襟裳	F-15×12、 F-16×22、F-14×2 F/A-18×21	千歳、三沢 横田、嘉手納 岩国
H11. 2. 16 ～ 2. 17	防空戦闘訓練	三沢東方	F-15×12、F-4×4 F-1×8、E-2C×1	千歳、三沢 襟裳	F-16×8	三沢
H11. 11. 8 ～ 11. 19	防空戦闘訓練 戦闘機戦闘訓練 再発進準備訓練	三沢東方 秋田西方	F-15×16、F-4×8 F-1×8、E-2C×2	千歳、三沢 襟裳、八雲 奥尻、車力	F-15×6、F-16×18 F/A-18×12、 E-3B×1	千歳、三沢 横田、嘉手納
H12. 3. 17	防空戦闘訓練	秋田西方	F-15×16、F-4×8 F-1×8、E-2C×2	千歳、三沢	F-16×8	三沢
H13. 2. 23	防空戦闘訓練	三沢東方 秋田西方	F-15×12、F-4×4 F-1×4、E-2C×2	千歳、三沢	F-16×8	三沢
H14. 3. 12 ～ 3. 13	防空戦闘訓練	秋田西方 三沢東方	F-15×15、 F-4×10、E-2C×1 E-767×1	千歳、三沢 車力	F-16×10	三沢
H14. 10. 29 ～ 10. 30	防空戦闘訓練 戦術戦闘訓練	秋田西方	F-15×16、F-4×8 E-767×1、 E-2C×1	千歳、三沢 車力	F-16×8	三沢
H15. 3. 6 ～ 3. 7	防空戦闘訓練	秋田西方	F-15×12、F-4×4 E-767×1	千歳、三沢	F-16×8	三沢
H15. 8. 28 ～ 8. 29	防空戦闘訓練	三沢東方	F-15×8 F-4×4	千歳、三沢 襟裳	F-16×10	三沢
H16. 2. 3 ～ 2. 4	防空戦闘訓練	三沢東方	F-15×12、F-4×6 F-2×8、 E-767×1	千歳、三沢 襟裳	F-16×4	三沢
H17. 2. 23 ～ 2. 24	防空戦闘訓練	秋田西方	F-15×12、F-4×8 F-2×8、 E-767×1、 E-2C×1	千歳、三沢 車力	F-16×10	三沢
H17. 5. 9 ～ 5. 17	防空戦闘訓練 戦闘機戦闘訓練	秋田西方	F-15×16、 E-767×1	千歳、三沢 浜松	F-16×4	三沢
H18. 2. 15 ～ 2. 16	防空戦闘訓練 戦闘機戦闘訓練	秋田西方	F-15×8、F-4×4 F-2×4、E-2C×2 E-767×1	千歳、三沢 浜松、車力	F-16×8	三沢